

推奨ルート案の検討方法について

平成30年1月18日
沖縄県

1 比較評価結果を踏まえ、県民が対策案に求める視点

- ・対策案については、ステップ4における県民等から寄せられた意見において、以下のとおり様々な効果が期待されるとともに、環境影響等について配慮・留意が求められ、さらに選定に関しても、幅広い視点での検討が求められた。
- ・そのため、推奨ルート案の検討にあたっては、各案の効果の程度や留意点等を踏まえ、様々な視点に基づき、よりよい案を選定していくものとする。

期待する効果・ニーズ

1. 県土の均衡ある発展
 - ・那覇と名護を1時間で結び広域的な地域圏を形成することによる生活圏(通勤・通学等含む)、居住地選択、交流等拡大による本県の経済振興、各地域の活性化
 - ・全ての地域において利便性を享受
2. 県民及び観光客の移動利便性の向上 & 世界水準の観光リゾート地の形成
 - ・県民及び観光客全ての移動利便性の向上
 - ・速達性や定時性向上等による交通の改善及び充実
 - ・交通の充実による県民生活の向上
3. 交通渋滞の緩和及び低炭素社会の実現
 - ・自家用車及びレンタカー利用の減少
4. まちづくりへの寄与
 - ・公共交通の充実による駐留軍用地跡地及びまちの活性化

求められる配慮・留意事項

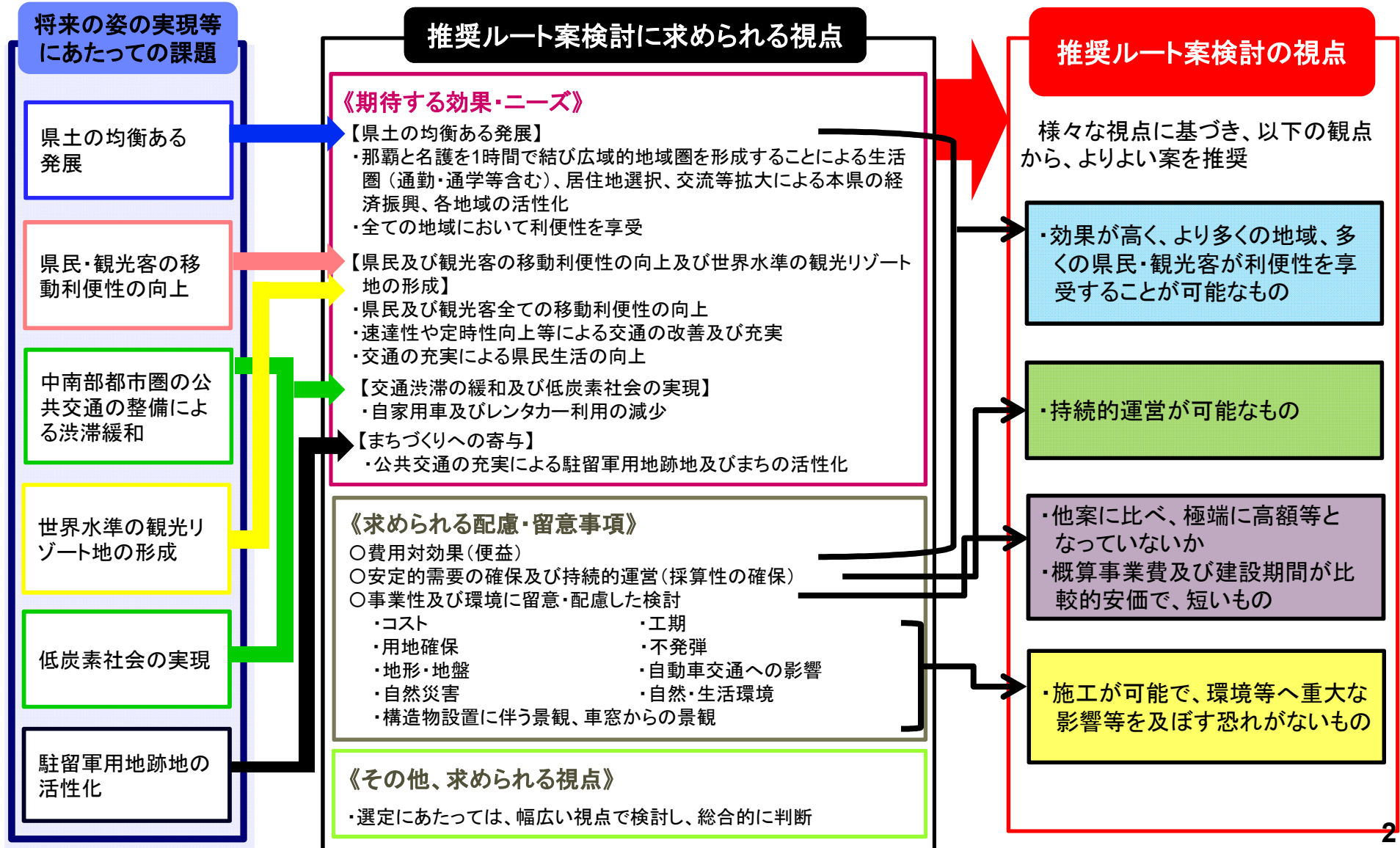
1. 安定的需要の確保
2. 持続的運営(採算性の確保)
3. 費用対効果(便益)
4. 事業性及び環境に留意・配慮した検討
 - ・コスト
 - ・工期
 - ・用地確保
 - ・不発弾
 - ・地形・地盤
 - ・自動車交通への影響
 - ・自然災害
 - ・自然・生活環境
 - ・構造物設置に伴う景観、車窓からの景観

その他、求められる視点

選定にあたっては、幅広い視点で検討し、総合的に判断

2 推奨ルート案検討の視点

- ・「推奨ルート案検討の視点」は、将来の姿の実現等にあたっての課題や県民等から寄せられた意見を踏まえ、以下のとおり整理される。
- ・なお、将来の姿の実現等にあたっては、骨格軸と併せて、フィーダー交通の充実も図っていくこととしている。



3 推奨ルート案検討の流れ

・各ルートについて、評価指標毎に効果の程度等を把握の上、「推奨ルート案検討の視点」に基づき、よりよい案を選定するものとする。

